

○4番（森山一政議員） 森山一政でございます。ただいま議長より発言のお許しをいただきましたので、通告の順に従いまして、一般質問を始めさせていただきます。

今年7月の市議会議員選挙におきまして、3期目の当選をさせていただきます、半年が過ぎようとしております。

市民の付託、要望など、真摯に受け止め、行政に届けていきたいと改めて思っております。

平成25年から続いておりました四季の丘はたそめの下水道工事業の件ですが、汚水処理を令和4年4月8日より開始した直後から、マンホール内の異常水位が確認されました。バキューム車による汚水の引き抜き作業を1か月半ぐらい行っておりました。その前に、確認をスムーズに行い、元の下水道施設につなげば、経費も相当な削減ができたものと思っております。

そこで、質問をいたします。

1として、四季の丘はたそめの自治会が所有する汚水処理施設の賃貸借契約及び使用料についてお伺いいたします。

2として、四季の丘はたそめ区域における公共下水道の抜本的対策に係る費用及び完了時期についてお伺いいたします。

民間の企業であれば倒産するような話でありますので、よろしくお願ひしたいところであります。

今、常陸太田市は高齢化社会に突入しております。茨城県において65歳以上が最多の85万4,000人になり、高齢化率も30.4%に達しております。

常陸太田市においては高齢化率40%に達しており、地域によっては55%から65%になっている地域もあります。

つくば市などは20.2%、守谷市では23.4%と、県内の南北の高齢化率の差も顕著に現れております。地域間市町村の格差が拡大しているのが表れているように感じております。

千葉県や東京への通勤通学者が多いところは学校をつくり、子どもたちも増加しておりますが、高齢化が進んでいる地域は若者の流出も進んでおり、人口減少も進んでおります。

この地域は、高齢化社会の中で、高齢者の生活環境整備をはじめとする様々な施策を待たなしで考え、実行していかなければならないと深く思っております。

当市では、高齢者の健康、加齢により体力、気力が弱っている方々は、フレイル予防として、シルバーリハビリ体操や筋力低下をなくす運動などに力を入れております。元気で生き生きと過ごせる介護予防が大事だなと思っております。健康な方々が増えていくことにより、福祉関係の経費も相当な削減ができ、市の経費もかなり削減ができると思えます。

当市では、民生費が年間約78億円から81億円ぐらい使われております。この金額は、年間の予算の3分の1に当たり、これからますます増えていくものと考えております。

当市の個人の住民税と法人税を合わせても、年間約25億円ぐらいで、都市計画税、たばこ税、軽自動車税などを加えた税収の合計は約52億円から53億円程度です。

少子化や高齢化、人口減少が市に与える影響などを十分に分析して、適切な市政運営を進めていかなければいけないかと感じております。

市の財政運営を見ますと、国の交付税や、国県の補助金で行われているのがよく理解できます。公共施設の総合管理計画等をしっかりと踏まえた運営をしていかなければならないし、第三セクターの経費の見直し等も必要に迫られているように考えられます。

そこで、入浴施設の運営についてであります。合併後も従来のままの状態で行われております。常陸太田市にある4つの温浴施設の運営についての費用対効果について伺います。

1として、1施設ごとの売上げについて伺います。

2として、1施設ごとの運営の経費及び収支状況について伺います。

3として、1施設ごとの特色や、プラスの要因は何かを分析しているのか、マイナスの要因は何か、どのようなところにあるのか。これらを踏まえて、市民の健康増進や福祉の向上を基本に、今後どのような運営方針で進めていくのか伺います。

次に、常陸太田市新総合体育館について伺います。

少子化、高齢化に伴い、限られた財源を効率的に効果的に真に必要なところに使うことが極めて大事ではないかと思っております。

新総合体育館については、3回説明をお聞きしました。初めに説明を聞いたときには、解体工事を含めて税込みで46億円でしたが、10月の説明では約68億円ぐらいはかかり、今後さらなる物価高騰、材料高騰によってはこの金額では収まらないとのことでした。材料費など、計画策定時より3割から4割ぐら子上昇しておりますので、施設などをつくると、大体2割から3割、4割程度整備費用の増額にもなるのかなあと思っております。仮に、今後の整備費用が2割増額になりますと約82億円になり、3割増額になりますと約89億円になり、4割増額になりますと約95億円になります。

1として、新総合体育館についての整備費用の今後の動向について伺います。

次に、常陸太田市は年間約800人から1,050人の人口が減少しております。本市において出生された子どもたちは、令和3年度は198名、令和4年度は9月末までにおきましては101名であります。市の施策として、人口減少対策に向けたいろいろな取組を行いつつも、年々減少しているのが現状でございます。

また、近隣の市町村には収容人数が4,000人を確保したプロスポーツも呼べる一流の体育館が何か所もあります。

そこで、2として、新総合体育館についての費用対効果の考え方について伺います。

次に、山吹運動公園までのアクセスはあまりよくないような気がしております。道路の整備も必要ではないかと思っております。

公園に側しております市道0107号線などについては、総合体育館が整備されることにより交通量も増え、大会などは大型バスなど、通行の妨げになるのかなと思っておりますので、道路整備、誘導など、どのように進めていくのかも考える必要があると思います。

そこで、3として、新総合体育館の整備に伴う市道0107号線、通称国体道路との関連性について伺います。

4として、山吹運動公園への誘導についてどのように進めていくのか、どのようなお考えなの

かお伺いいたします。

これで1回目の質問を終わります。よろしくお願ひいたします。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。上下水道部長。

〔畠山卓也上下水道部長 登壇〕

○畠山卓也上下水道部長 公共下水道事業の不具合について、2点のご質問にお答えいたします。

初めに、1点目の、四季の丘はたそめ自治会が所有する汚水処理施設の賃貸借契約及び使用料についてでございますが、市が四季の丘はたそめ自治会所有の汚水処理施設を使用するに当たり、本年7月1日に自治会と汚水処理施設の使用に関する協定を締結し、汚水処理施設の使用期間や費用負担について取決めをしております。

その協定の中で、汚水処理施設の使用期間につきましては、公共下水道の抜本的対策が完了し、汚水処理場にて汚水処理をする必要がなくなったときまでとしております。

また、費用負担につきましては、汚水処理施設を稼働するために必要な全ての維持管理経費、具体的には電気料や施設管理費などの実費分を市が負担しております。

汚水処理場の使用を開始しました本年5月27日から10月使用分までとして自治会に支払いました使用料につきましては、合計で965万7,678円。月平均にいたしますと193万1,536円となっております。

なお、1年間当たりの使用料見込額につきましては、まだ1年を通じた実績がございませんが、参考情報といたしまして、これまで自治会が支払ってまいりました維持管理経費の直近3年間の実績として、年間平均で2,600万円程度かかっていたようでございます。

続きまして、2点目の、四季の丘はたそめ区域における公共下水道事業の抜本的対策に係る費用及び完了時期についてでございますが、抜本的対策につきましては、本年8月の第4回市議会臨時会において、補正予算のご承認をいただきました後、9月9日の入札により決定した委託事業者と、市の公共下水道全体計画及び公共下水道事業計画の見直し及び抜本的対策の工法検討につきまして、県などと調整しながら検討しているところでございます。

また、抜本的対策に係る費用や完了時期につきましては、今後、これら関連計画の見直し修正と工法検討を取りまとめた後に、実施設計をしてみないと明確にお示しすることができませんが、自治会所有の汚水処理場を使用するため、経費もかかっておりますことから、できる限り早期に完了させたいと考えております。

なお、抜本的対策の内容等が決定次第、市議会や四季の丘はたそめの住民はもとより、広く市民に周知をしてまいりたいと考えております。

○藤田謙二議長 保健福祉部長。

〔柴田道彰保健福祉部長 登壇〕

○柴田道彰保健福祉部長 公共施設等総合管理計画の中の4つの温浴施設についてのご質問ですが、私からは、太田温泉やまぶきの湯についてお答えをいたします。

初めに、施設の売上げについてでございますが、太田温泉やまぶきの湯の温泉利用料は、コロナ前の令和元年度は2,057万4,830円、コロナ禍の令和3年度は1,185万4,770円で、

今年度は、9月までで763万9,690円となっております。

次に、運営経費についてでございますが、総合福祉会館全体の指定管理となっておりますことから、温浴施設に係る経費をお答えすることはできませんのでご了承いただきたいと存じます。

施設ごとのプラス要因やマイナス要因の分析及び今後の運営方針につきましては、他の3つの温浴施設と併せて商工観光部長より答弁を申し上げますが、太田温泉やまぶきの湯が他の施設と異なるプラス面として、市街地にあり立地条件がよいことや、保健福祉の拠点である総合福祉会館の中にあることがあるものと捉えております。

○藤田謙二議長 商工観光部長。

〔根本晋商工観光部長 登壇〕

○根本晋商工観光部長 2、公共施設と総合管理計画について、(1)公共施設等総合管理計画の中の4つの温浴施設についての3点のご質問にお答えいたします。

初めに、1点目の1施設ごとの売上げ及び2点目の1施設ごとの運営経費及び収支状況について、施設ごとにお答えいたします。

まず、水府地区竜っちゃん乃湯の売上げにつきましては、コロナ前の令和元年度は3,648万5,000円。コロナ禍の令和3年度は1,196万3,000円。今年度の上半期は950万5,000円でございます。

一方、支出額につきましては、コロナ前の令和元年度は5,174万2,000円。コロナ禍の令和3年度は3,128万6,000円。今年度の上半期は1,712万8,000円でございます。

収支状況でございますが、指定管理料を含めまして、コロナ前の令和元年度は455万7,000円の赤字。コロナ禍の令和3年度が399万5,000円の赤字。今年度上半期につきましては227万3,000円の赤字という状況でございます。

次に、里美地区ぬく森の湯の売上げにつきましては、コロナ前の令和元年度は7,452万1,000円。コロナ禍の令和3年度は3,238万2,000円。今年度上半期は2,861万7,000円でございます。

一方、支出額につきましては、コロナ前の令和元年度は8,297万3,000円。コロナ禍の令和3年度は5,792万3,000円、本年度上半期につきましては3,311万7,000円でございます。

収支状況につきましては、コロナ前の令和元年度は845万1,000円の赤字。コロナ禍の令和3年度及び本年度の上半期は、指定管理料を含めまして、令和3年度は689万5,000円の赤字。今年度上半期は450万円の赤字という状況でございます。

続きまして、金砂郷地区の金砂の湯の売上げにつきましては、コロナ前の令和元年度は6,698万3,000円。コロナ禍の令和3年度は2,739万2,000円。今年度上半期は715万6,000円でございます。

一方、支出額につきましては、コロナ前の令和元年度は1億2,176万5,000円。コロナ禍の令和3年度は7,042万1,000円。今年度上半期は1,932万1,000円でございます。

収支状況につきましては、コロナ前の令和元年度は2,314万4,000円の赤字。コロナ禍の

令和3年度及び今年度の上半期は、指定管理料を含めまして、令和3年度は1,050万3,000円の赤字。本年度の上半期は116万5,000円の赤字という状況でございます。

3点目の1施設ごとのプラス要因やマイナス要因の分析及び今後の運営方針につきましては、各施設とも、プラスの面としまして、その設置目的であります地域住民の交流の場としての役割に加え、地元雇用等に寄与している点、また、周辺の観光地や観光施設と併せて面的な集客効果が期待できるものと捉えております。

マイナスの面としましては、各施設とも建設から相当の年数が経過しております。施設の修繕や設備の交換など、維持管理に多くの費用が必要となってきた状況に加え、周辺人口の減少やコロナ禍による来場者数の減少により、経営環境が悪化している点と捉えております。

今後の方針につきましては、市の公共施設等再配置計画を踏まえつつ、各施設の利用状況や収支状況、及び修繕に係る費用等を精査し、それぞれの施設ごとに改廃も視野に入れ、今後の在り方に向けて検討してまいります。

○藤田謙二議長 教育部長。

〔西野保教育部長 登壇〕

○西野保教育部長 新総合体育館整備についての4点のご質問にお答えをいたします。

1点目の新総合体育館整備費用の今後の動向についてでございますが、これまでも整備費用につきましては基本設計の中で精査に努めている旨答弁してまいりましたが、今後の実施設計におきましても、資材価格の動向に注視しつつ、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができ、夢を育み、にぎわいが生まれるような魅力ある総合体育館として、必要な機能を確保しながら、引き続き整備費用の精査に努めてまいりたいと考えております。

2点目の新総合体育館の費用対効果の考え方についてでございますが、新総合体育館の整備に当たりましては、基本計画で定めた基本コンセプトと3つの整備方針に基づき、スポーツをする、見る、支えると、様々なスタイルで楽しめるとともに、トップレベルの大会やイベントを開催することで、交流人口の拡大、にぎわいの創出につながるよう整備を進めるとともに、本市が進めるフレイル対策などの健康づくり、健康増進の場や、IT機能を充実させることによる各種情報の発信機能の充実や、各種イベント会場としての活用など、スポーツだけの利用にとどまらない多機能な施設としての利活用の促進を図ることで、費用対効果としては直接推し量れない面も含めた価値を上げていきたいと考えております。

その他、これまでにない規模の施設整備を行うことから、中長期的な視点に立った適正な施設管理も必要と考えております。

具体的には、指定管理者制度を導入することで、民間のノウハウを活用した利用者への良質なサービスの提供等、多くの市民が利用しやすい総合体育館となるよう検討を進めるとともに、本市が進めておりますゼロカーボンシティ宣言の取組として、LED照明、人感センサー、効率的な空調設備などの省エネ機器の導入や、太陽光パネルの設置、雨水の再利用など、維持管理のしやすさ、環境への負荷の少ない設備を積極的に導入し、管理コストの縮減も図ることとしております。

3点目の新総合体育館整備に伴う市道0107号線との関連性についてでございますが、基本設計におきまして、体育館駐車場の出入口を現状より30メートル程度北側へ設置することで、屈曲する道路線形を避けた出入りの安全性の確保を図るとともに、駐車場出入口を2か所設けることによる渋滞緩和対策を計画しているところでございます。

また、本年8月に簡易的な交通量調査を実施し、その結果を踏まえ警察などの関係機関と協議をしており、仮に交通量の大幅な増加が予想される場合につきましては、警備員を配置することで対応してまいりたいと考えております。

4点目の山吹運動公園への誘導についての考えでございますが、トップレベルの大会やイベントの開催時には県内外から多くの来客が想定されますことから、本事業におきまして適所に案内表示板を設置し、山吹運動公園まで安全に分かりやすく誘導することに努めていくこととしております。

また、近隣の公共施設を臨時駐車場として利用することや、シャトルバスの運行も誘導手段として想定をしているところでございます。

○藤田謙二議長 森山議員。

〔4番 森山一政議員 質問者席へ〕

○4番（森山一政議員） 説明ありがとうございました。それでは、2回目の質問を始めさせていただきます。

平成25年からの下水道工事でした。今年までの期間を考えますと、その期間、9年がかかりました。説明では1年で260万円ぐらいの賃料がかかり、費用として2,600万円掛ける例えば9年と考えますと、約2億3,400万円がかかります。

また、下水道の使用量だけで莫大な工事以外の金額がかかっています。バキューム車の污水引き抜き量など、一千数百万円かかっております。仕事の以外のことで相当な費用がかかり、電気代なども高騰すればますますかかっていくのかなと思っております。

下水道工事は幾らぐらいで計算しているのか、雑ぱくでよいので教えてくださいと思います。よろしく願いいたします。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。上下水道部長。

○畠山卓也上下水道部長 ただいまのご質問にお答えしたいと思います。

先ほども答弁させていただきましたように、現在、工法検討としまして、汚水量の精査をするとともに、どのようなルートで新たな管を整備すべきかといったところを検討しております。

そのルート次第で、工法的に道路の下をくぐっていくような推進方法で整備をしなければならぬ部分ですとか、あとは、普通の開削で工事を進めていく部分とか、といったものもございまして、今、一概に、大体の、おおよその金額としまして、工事費として幾らといったところも不明確なところがございますので、ここでのご答弁といったのは差し控えさせていただければと存じます。よろしく願いします。

○藤田謙二議長 森山議員。

○4番（森山一政議員） 分かりました。いろいろな面で経費がかかると思います。なるべく早

く仕事を終了するようにお願いして、要望をします。よろしくお願いします。

それでは、1施設ごとのプラスの要因、マイナス要因、今後の運営方針について2回目の質問をいたします。

公共施設等の収支は大変厳しいものがあると理解いたしました。これもそうなんですけども、公共施設の再配置計画、収支等、精査して、なるべく、さっき、改廃というようなことも言っておりました。スムーズな流れをつくっていただき、経費のかからないような運営をしてもらうようにしていただければと思います。要望いたします。

それでは、新総合体育館基本設計についての、1番の新総合体育館整備費用の今後の動向についてですが、金額的、かなり大きい金額になっております。そのような金額の見直し等というのは考えているのか、これからの流れを教えてくださいたいと思います。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。教育部長。

○西野保教育部長 ただいまのご質問にお答えをいたします。

今後の金額の見直しということでございますが、今後、実施設計をする中でコストの縮減に努めてまいりますのがまず第1として取り組んでまいります。

そして、コストの縮減を図った上で、今後、資材価格の高騰等により整備費が増大することがあれば、国等の機関と適切に調整をしながら対応をしてまいりたいと考えております。

○藤田謙二議長 森山議員。

○4番（森山一政議員） 今、皆さんと考えながらということですけども、大体68億円ぐらいかかると。それより上になるのか、また下になるのか、大体の予想というのがあると思いますね。そういう金額の面、教えてくださいたいと思います。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。教育部長。

○西野保教育部長 ただいまのご質問にお答えをいたします。

これまで、68億という整備費を出しておりましたが、これは基本設計の中における整備費の算出でございます。

今後、改めて実施設計の中で、細かく算出をする中で改めて整備費につきましては金額が出ると思いますので、そちらを基に対応してまいりたいと考えております。

○藤田謙二議長 森山議員。

○4番（森山一政議員） それでは、そのとき詳しい金額等、皆さんに周知してもらえればと思っております。

また、3点目の道路、0107号線の道路についてなんですけども、道路の入り口を2か所つくり30メートルぐらい広げるというような話ですけども、その他に改修するような考えはあるのかお伺いいたします。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。教育部長。

○西野保教育部長 ただいまのご質問にお答えをいたします。

道路につきましては、現状、改修予定はございませんが、自由広場の道路に面している部分、そちらにつきましては、歩道として対応できるよう拡張できる面積を確保してございます。

○藤田謙二議長 森山議員。

○4番（森山一政議員） ありがとうございます。市民のお金を使い、また、国のお金も使い立派な体育館をつくるというような計画ですので、皆さんが楽しめるすばらしい体育館をつくっていただければと思います。要望いたします。

それでは質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。